

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度
		美術科における教材・支援機器活用実践事例
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input checked="" type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	写真でアート
	授業の目標	1 カメラを構える角度や距離、構図などを工夫して被写体を撮影する。 2 コラージュが面白くなるよう工夫して、友達と話し合っって作品をつくる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 1年 26人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input checked="" type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input checked="" type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> 見る <input checked="" type="checkbox"/> 聞く <input checked="" type="checkbox"/> 話す <input checked="" type="checkbox"/> 読む <input checked="" type="checkbox"/> 書く <input checked="" type="checkbox"/> 計算する <input checked="" type="checkbox"/> 推論する <input checked="" type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活活動 <input checked="" type="checkbox"/> 不注意 <input checked="" type="checkbox"/> 多動性-衝動性 <input checked="" type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input checked="" type="checkbox"/> その他 生徒の主障がいは知的障がいであるが、他障がいを併せ有する生徒も在籍している。生徒の学習の定着状況、社会性やコミュニケーション面の課題は生徒個々で実態差が大きい。生徒は素直で教えられたことに一生懸命取り組もうとする姿が見られるが、知識や経験をもとに話し合ったり、主体的に学んだりすることに課題がある。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	・iPadアプリ「Photo Booth」 ・実物投影機
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input checked="" type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) 1 ユニークなフィルターを駆使した写真を撮影する。 2 撮影した写真を工夫して貼ったり、文字を書いたりしてコラージュを作る。
授業に授け展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	<p><第1回 2時間></p> <p>1 コラージュの説明を聞く。 2 体育館に移動し、班毎にiPadで写真を撮る。 (1) 集団でポーズを考えたり、構図や遠近法を工夫したりして写真を撮る。 (2) 「Photo Booth」でフィルターをかけ、写真を撮る。 3 各班10枚の写真をセレクトしてお気に入りにする。</p> <p><第2回 2時間></p> <p>1 説明を見聞きし、作り方を知る。 2 プリントアウトされた写真を切り貼りし、グループで相談しながら1枚のコラージュを作成する。 3 タイトルや工夫点をプリントに書き込み、作品に貼る。 4 作品を実物投影機を使い、工夫した点などを発表する。</p>  
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	生徒は、iPadのアプリを活用することでアイデアを考えやすくなり、意見を出したり、話し合ったりするなど、主体的に学ぶ姿が見られた。また、発表する場面では、実物投影機を使用したことで、発表する側も聞く側とも分かりやすく、生徒の言語活動の充実につながった。 なお、この時に撮影した写真の1枚が、第22回全国特別支援学校文化際の知的障害教育校長会長賞を受賞した。